

平成29年度第2回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要

開催日時	平成 29 年 6 月 26 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、清水、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	宇治 幸隆
研究名	当院職員の点眼に関する経験および知識についてのアンケート調査
研究内容 要旨	医療機関で勤務する職員には患者に点眼治療を行うことを求められることが多い。点眼治療が円滑、適切に行われるには職員の知識、経験が重要であるので、その点についてアンケートをとって実情を知り、職員教育に役立てる予定である。
審議結果	承認 2017-006
参考	無記名であり、心理的苦痛を伴わないアンケート調査であると考えられたので、書類審議の結果、承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	北村 紗緒梨
研究名	ドライビングシミュレータを用いた自動車運転評価
研究内容 要旨	脳血管障害や高次機能障害と診断された患者は自動車運転再開に当たり医師の診断書を添えて免許センターの臨時適正検査を受ける必要がある。当院では希望者に対して机上での神経心理学的評価、ドライビングシミュレータ評価、実車評価を行い、医学的観点から運転再開に関して助言を行っている。そこで、シミュレータの動作場面評価と机上評価・日常生活動作との関連性について検討し、包括的な運転能力評価に向けた新たな評価指標を見出すことを研究の目的とする。
審議結果	承認 2017-007
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	福井 麻貴
研究名	香りの有無における注意課題遂行能力の違いの検討
研究内容 要旨	アロマセラピーでは、認知症の周辺症状軽減や睡眠の質を高めるなどの効果についての先行研究がある。アロマオイルには集中力が高まるとされるオイルもあるが、効果が検証された研究は少ないのが現状である。集中力が高まるとされるアロマオイルの効果を検証することで、今後リハビリテーションを展開する上で、参考になるか検討する。
審議結果	差し戻し
意見	研究等実施計画書には「香りの有無」となっているが、研究対象者への説明には「香りの違い」となっており、実際には香りがないのに、香りがあるかのような説明がされている。正しい説明に改める。